

**永井マザーズホスピタルでは、患者さんが安心して医療を受けることができるよう
「医療安全が全てに優先する」を合言葉に全職員が行動します。**

1. 医療安全を守る基本原則

健康な体であっても、妊娠によって母体の各臓器には大きな負担がかかります。

妊娠前から産褥期まで一貫した管理を行います。

2. 医療安全を支える環境とチーム体制

多職種による専門チーム（産婦人科医、麻酔科医、小児科医、助産師、看護師）が連携し、業務にあたります。

3. 医療安全を継続・改善するための努力

全職員に対する継続的な教育や、安全についての協議を定期的に行っています。



4. 不測の事態に備えた「産科的危機」への対応

妊娠・分娩に伴うリスクは決して「ゼロ」にはなりません、限りなく「ゼロ」に近づけられるよう、一刻を争う判断と処置ができる緊急体制を構築しています。

特にお問い合わせの多い、無痛分娩については、麻酔科専門医が常勤しており、不測の事態に対する万全の体制を整えております。

また、TOLAC（帝王切開後の経膣分娩）等のハイリスク管理も、安全を最優先に方針を決定します。

**私たちは、母子共に笑顔で退院し、ご家族に迎えられる「当たり前」の幸せを支えるため、
スタッフ一同、日々努力を惜しみません。**

